

少ないデータに対する機械学習のすすめ方

- ◆日時：2022年02月04日(金) 10:30～16:30
- ◆会場：【WEB限定セミナー】
※在宅、会社しながらセミナーを受けられます
- ◆受講料：1名につき55,000円(税込、資料付)
- ◆会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円(税込)
・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

名古屋大学 工学研究科 物質プロセス工学専攻 准教授 博士(工学) 藤原 幸一 氏

生産現場の操業データや医療データにおいては、データ収集の面において様々な困難に直面することがある。たとえば、測定されている変数の数と比較して統計モデリングに使用可能なデータ量が限られることが多い。また、通常のモデリングでは正例・負例双方のサンプルが必要となるが、装置故障など稀な事象のデータはなかなか集められない。医療データにおいては、倫理的問題から多くの患者から臨床データを収集するのは困難である。このように実世界ではしばしば必要なデータが十分に収集できず、スモールなデータからいかに知識を抽出するのかが重要となる。本講演では、製薬プロセスおよびてんかん患者の臨床データ解析の実例を通じて、スモールデータ解析の考え方や展望を述べる。

<p>1. スモールデータとは</p> <p>2. 次元削減と回帰分析</p> <p style="margin-left: 20px;">2-1. 主成分分析</p> <p style="margin-left: 20px;">2-2. 部分的最小二乗法(PLS)</p> <p>3. 入力変数選択</p> <p style="margin-left: 20px;">3-1. スパースモデリング</p> <p style="margin-left: 20px;">3-2. 変数クラスタリングによる入力変数選択</p> <p style="margin-left: 20px;">3-3. 製薬プロセスへの応用例</p>	<p>4. 異常検出</p> <p style="margin-left: 20px;">4-1. 多変量統計的プロセス管理(MSPC)</p> <p style="margin-left: 20px;">4-2. 自己符号化器(オートエンコーダー)</p> <p style="margin-left: 20px;">4-3. 医療データ解析への応用例</p> <p>5. スモールデータ解析への心構え</p> <p style="margin-left: 20px;">5-1. スモールデータの収集/解析の考え方</p> <p style="margin-left: 20px;">5-2. データ収集の際の留意点</p> <p style="margin-left: 20px;">5-3. 必要となるデータの質の問題</p>
---	---

『機械学習【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

●セミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールでお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受け付けておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>



株式会社 R & D 支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル 7F

TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <http://www.rdsc.co.jp/>